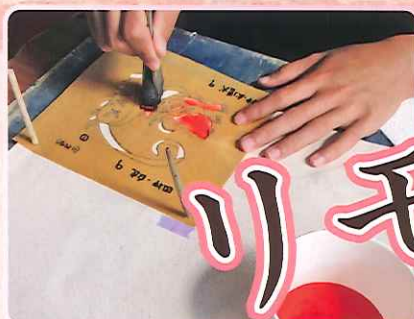




◀吉本芸人
タナからイケダさん

静岡市立松中中学校
リモート修学旅行 記念!!
2021.9.21



リモート修学旅行

令和3年9月21日



3年学年主任 松澤 茂

今年度も3日間で予定していた京都・奈良の修学旅行は中止となりましたが、『リモート修学旅行』を実施しました。オンラインでの修学旅行という慣れない場に戸惑い緊張している雰囲気の中、よしもとのお笑い芸人さんの元気な声が教室内に響き、リモート修学旅行が始まりました。ひとつ笑いが起きればみんなの顔もほころび、教室の中は楽しい雰囲気になりました。お寺の見学や薬師寺のお坊さんのありがたい法話、そして、体験学習(型友禅)、学級対抗クイズ大会等…インターネットを介して京都、奈良について楽しく学ぶことができました。



3年1組 勝田 結

京都・奈良に行ったようで、お坊さんの話も聞くことができ良かったです。中でも、友禅染めが楽しかったです。すごくきれいな色で、濃いめの色でも染めると淡くなりました。もっと時間をかけて丁寧に、こったデザインにも挑戦したいと思いました。京都・奈良には、もっともっと良いところがあると思うし、もっともっと知らないことがたくさんあると思います。コロナが収まったら、絶対に行きたいです。

3年2組 中村 晃輔

新型コロナウイルスの影響を受け、僕たちは修学旅行に行くことができませんでした。そんな中 IT 機器を利用し、リモートでの修学旅行が行われ、中学校生活最後の思い出を彩ることができました。リモートでしたが芸人の方々に盛り上げていただき、短い間でしたが誰もが楽しめるとても充実した時間になりました。コロナが落ち着いたら実際に京都・奈良へ行こうと思います。思い出に残る企画をありがとうございました。



3年3組 青木 杏音

リモート修学旅行は、私たちにとって印象深い経験になりました。京都へ実際に行くことはできませんでしたが、まるで京都にいるかのような体験ができ、歴史や伝統も学ぶことができました。進行してくれたお笑い芸人さんとの掛け合いもおもしろく、とても盛り上げてくれて楽しかったです。いつか京都へ遊びに行き、もっと歴史や文化を感じたいです。

3年4組 佐藤 拓志

リモート修学旅行で一番印象的だったことは友禅染体験です。友禅染のセットを送っていただき、リモートで説明を聞くという今ならではの体験の仕方でした。たくさんの型を用意していただき、僕は和を意識して昔の家から見える夕日を選びました。エコバックにグラデーションを考えながら様々な工夫をして染めました。完成作品が美しく、とても感動しました。



令和4年度夏場の制服「ポロシャツ」追加導入について

今年度、生徒指導部や生活指導部を中心に、夏場の制服についての検討を重ねてきました。

本校では、従来の開襟シャツや、長袖ワイシャツ、長袖ブラウスを夏場の制服としていましたが、新たにポロシャツを追加導入することで、各自で選択した服装で快適に過ごせるようにしたいという意見にまとまりました。来年度より夏場の制服の選択肢の一つとして、ポロシャツが追加導入になります。気候や体調に合わせた着こなし方をしてほしいと思います。完全にポロシャツに切り替わるわけではありません。



▲イメージ

ステージの購入 ありがとうございました

末広中の体育館には常設のステージはありません。入学式、卒業式等の行事ではステージを設置します。末広中にある組み立て式のステージは現在の体育館が落成したときに購入したもので、既に30年が経過しています。スチール製で重く、折りたたみ機構に不都合が生じているものもあり、設置・収納時にけがをする心配もあります。

そこで新しいステージ購入をPTAにお願いしました。新しいステージの材質はアルミ製で軽く、収納時のスペースも少なくてすみます。今年の卒業式に間に合わせていただきました。ありがとうございます。このステージを大切に使っていきます。

通知機能があるので
送信忘れも
防げます

利用料金は、
PTA会費から
補助しています

健康観察アプリ

LEBER(リーバー)導入



コロナ禍において欠かせない毎日の健康観察。これまで紙ベースで行ってきた健康状態の確認をLEBERの導入により、家庭からスマートフォンやパソコンで送信できるようになりました。電話で行っていた欠席連絡もアプリからでき、学校では、一括で情報管理が可能になりました。

- 近くの医療機関の情報や健康に関する情報などもチェックできるので活用していきたいですね。

シズクリプロジェクト 準グランプリ受賞!

今年度2年生は、総合的な学習の時間で「地域探究プログラム：エンジン」に取り組みました。学校と社会をつなぎ、静岡のよりよい未来を創造する「シズクリプロジェクト」として、地元企業と一緒に身近な課題について考えてきました。

その中で、各企業が選ぶ「企業賞」に選ばれた「夜桜ニホンカナヘビ」と「デンジャラス」という2チームが、1月30日(日)に行われた「2021 静岡カップ」に出場しました。模造紙やプレゼンシートを用いて、チームのアイデアいっぱいの企画を堂々と発表する姿はとても輝いていました。

そして、見事「デンジャラス」の「命や幸せを守るキラキラナイト」という企画が、準グランプリ(県2位)に選ばれました。

今回の活動を通して、課題を追究し、さまざまな角度からアイデアを出してつなげていく楽しさを2年生は感じてくれたように思います。





中
末
体
育
祭

思い

風林火山

体育祭実行委員長 3年1組

松永耀利

今年は、体育祭当日間際まで緊急事態宣言が続き、本当に開催できるのかという思いを抱えながらの運営でした。種目内容や練習時間など、様々なことが制限され、思うようにいかないこともありました。当日は、色々なハプニングがありましたが、一人一人が自分の役割を全うしてくれたことで、一人の感染者も出さず、やりきることができました。活動が限られた中、検討会や種目リハーサルを通し、係長や学年、学級と連携がとれ、各自が臨機応変に動いてくれました。良い仲間と良い時間を創れたと思っています。



青組団長 3年2組 松村美利

私は、中学に入って初めて、リーダーの立場に立ちました。コロナの影響もあり、準備にとても時間がかかりました。本番では、うまくみんなをまとめることができず困ることもありましたが、同じ学年の人が声かけをしてくれました。最高の思い出ができました。



正々堂々

赤組団長 3年4組 戸沢佑太

僕はこの体育祭を通して、挑戦すること、責任感の大切さを学びました。団長に挑戦することは不安でした。しかし、最後まで友達や先生方に応援していただき、がんばることができました。中学校生活最後の体育祭で優勝したことは、一番の思い出です。



学級対抗リレー

- 1年『仲間と共に駆け抜けろ ～ Friends are powerful ～』
- 2年『繋げ 仲間との絆 ～思いをバトンに掛けて～』
- 3年『絆 ～繋ぐ思い 届く勝利～』



綱引き 『輝 ～繋げ 皆の思い～』



を繋げ

2021.10.07

仲間と共に

 玉入れ

『Do our best 絆を1つに投げ入れろ～』

 選抜リレー

『勝利への思い バトンに込めて』



273

249

結果発表

総合結果▶優勝 赤組 準優勝▶青組

選抜玉入れ▶優勝 赤組 選抜綱引き▶優勝 赤組

学級対抗リレー 1位

3年▶302 2年▶201 1年▶101

選抜リレー▶引き分け (赤 2・3位、青 1・4位)

3年1組



3年2組



3年3組



3年4組



第76期 生徒会



会長 川口和奏

第76期生徒会は、「つくるつなげるひろげる末広の輪」をスローガンとし、様々な活動を行っています。「末広の輪」とは、同じ目標を持つ者同士、協力し合う中で生まれた“絆”のことです。この輪をクラス、学年、学校、地域へとひろげていきます。また、今年からは、SDGsの活動も積極的に取り入れていきたいと思っています。

副会長 小長井埜亜、長島光星

第76期生徒会では、3つの輪(あいさつ・清掃・ボランティア)を更にレベルアップさせていきます。その為に、校外清掃を行ったり、学級委員と共にあいさつ活動を行ったりしています。他にも、厚生病院に行き、クリスマスカードを渡す活動も行いました。

来年度から、PTAの

皆さん、お元気ですか！会長の長谷川です。

さて、私はPTA会長を3年間努めさせていただきました。最初の年は、長年続けてきた末広中の伝統を受け継いで、さまざまな活動をしてきましたが、この2年間はコロナ禍の影響でガラリと一変し、予定していた活動がほとんどできませんでした。ところが、おもしろいもので委員会活動ができないことによって、逆に新しい風が吹いたのです。各方面からこの機会に委員会などを見直してもいいんじゃないかという話が浮上してきました。

そこで、各委員の活動内容など本部役員と度重なる話し合いをしていく中でPTA運営委員会自体をスリム化するという計画がたちあがりしました。

来年度は、新本部役員がその意思を受け継いで下さり、誰もが活動しやすいPTAを目指してくださいますので、引き続き、皆さんのご支援をお願いいたします。

3年間ありがとうございました。



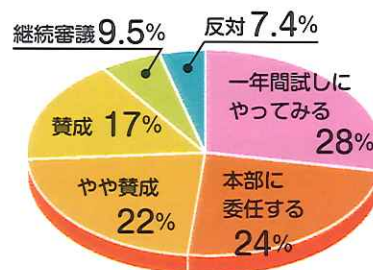
これまで個々で所属していた委員会活動を部活単位で担当することになります！

今年度、毎年PTA本部役員の選出に苦慮している中で、検討を重ねた結果、打開策のひとつとして、これまで個々で所属していた委員会活動を部活単位で振り分け、活動していくという案がたちあがりしました。この案について、アンケートをとらせていただき、多数の好意的な意見をいただいたので、来年度から実施の方向となりました。

これまでやってきたことを変えるというのは大変なことですが、やってみることで成果や課題が見え、さらなる改善につながっていくと考えています。

ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

これまで個々で所属していた委員会活動を係として部活単位で振り分けることについて、12月に行ったアンケートの結果、ご意見を一部紹介します。(1,2年生保護者対象 回答数169)



アンケートへのご協力、多くのご意見をありがとうございました。

「賛成」「やや賛成」「一年やってみよう」に投票した方の意見

- ★コロナで活動がなかったこともあり委員会自体の必要性に疑問を感じていた。保護者の負担にならない程度の最低限の活動で十分だと思う。
- ★毎年役員決めに苦慮されていたと思うので、とてもいい案だと思う。
- ★決定には沿う考えだが、部活動の所属人数の差や所属していない人同士のまとめ方については課題がある。
- ★部活動代表の負担が大きいのので、配慮が必要だと思う。

「継続審議」「反対」に投票した方の意見

- ★部活に所属していない生徒もいるため不公平だ。
- ★部活内でも普段から配車などに参加しない保護者がいる中で委員会活動も入ると更に負担の差が広がる。
- ★部活により差がでる。部活に入る人が減る。
- ★知っている仲だからこそ不公平さがはっきりしてしまい、人間関係が崩れる可能性がある。
- ★部活動選択の際、親の意向で子どもが自由に選択できない可能性がある。

いざという時のために 地域防災の日

参加した生徒の感想

- 避難所で生活するのは大変だと思いますが、テント(仕切り)があると安心だなと思いました。
- 仮設トイレの組み立てを見学しましたが、仮設といってもとても本格的だと思います。
- 消火器訓練に参加しましたが、実際に火を見たら冷静に行動できるか分かりません。

12/5 (日)、各地域ごとの避難訓練が行われ、未中の生徒も参加しました。実際にテントの寝心地や消火活動などを体験して、防災への意識を改めて高めました。



形態が新しくなります。

Q PTAのスリム化とは、具体的にどう変わるのですか？

A 現在、PTA本部役員は、23名で編成されていますが、庶務、校区委員、保体委員、校外育成委員、施設委員などを減らし、10名ほどで運営していく予定です。

Q 家庭教育(母親)委員、補導委員、広報記録委員もなくなりますか？

A 家庭教育委員、補導委員は、市からの要請により、各学校から選出することになっています。

広報記録委員は、広報誌を通して学校の様子を地域に発信しており、作成に当たり学校との連絡係としても残す必要があると考えました。

Q 校区委員がなくなったら、学校だよりなど、町内への配布物はどうするのですか？

A 地域コーディネーターを通し、学校から直接渡してもらうなどを検討しています。

Q 部活動に所属していない保護者は、委員会活動はないのですか？

このほか、廃品回収、バザーの休止により、地域との交流やその収入から充てていた各部活動への補助金がなくなります。代案として、市一斉の部活動なしの日(11月第2土曜日)に保護者と生徒によるフリーマーケットのようなものを考えています。

Q 具体的 にどのような係や活動がありますか？

A 各部に振り分ける係については、体育祭駐輪場係、会計監査、挨拶運動、クリーン活動などを予定しています。

係を細かく分けることで各部活への負担が大きくなりないう検討を進めています。

A サポート委員として活動していただきたいと思います。(活動内容については検討中です)

皆さんの疑問にお答えします！

話は変わって

広報記録委員会から、ちょっとお知らせ

今年も学校広報誌「すえひろ」が、静岡県PTA 連絡協議会広報誌コンクール、静岡市PTA広報誌コンクールにおいてそれぞれ優秀賞を受賞しました。ご協力くださった皆さま、ありがとうございました。来年度もよろしくお願いいたします。



部活動で顧問やコーチとして生徒の指導を してくださっている方々をご紹介します。

女子ソフトテニス部

石川 敏夫さん

私は中学生の頃からテニスを続けており、縁があり末広中学校でお手伝いをしています。アドバイスが伝わって、生徒さんが成長してくれた時喜びを感じます。声にだして、元気にプレーしてください。応援していますので、気軽に相談して下さい。

～生徒より～ 阿部のの

テニスの知識が豊富で、打ち方、試合展開など分かりやすく丁寧に指導して下さいます。応援の気持ちが嬉しく、とても心強いです。

男子ソフトテニス部

田廣 豊さん

今年度6月より男子ソフトテニス部コーチの田廣豊です。生徒たちは素直で一生懸命活動に取り組んでいるので大変嬉しいです。テニスを楽しめるように支援、指導していきます。みんなで盛り上げていきましょう！

～生徒より～ 長島 亜弥斗

田廣コーチは、笑顔の絶えない優しいコーチです。貴重な時間をさいて熱心にご指導いただき、部員の心の支えとなっています。



男子バレーボール部

井上 雅義さん 福島 卓巳さん

井上さん(2010年からU14,U19でバレーボールを指導、全国大会6回出場、準優勝2回、3位2回)▶先輩に誘われ1年目で全国大会に出場した事で熱が入ったのがきっかけです。子供達には常に考えて、動くよう指導しています。考えて動くことで道は開けます。一緒に頑張りましょう。

福島さん▶服織中学校でバレーボールを始め、聖隷クリストファー高校で春高バレーを経験し、大阪体育大学で学校の先生の免許を取得しました。趣味は、様々なカテゴリーのバレーの試合を見ることと、本を読むことです。大学在学中に大学の付属高校から依頼があり、そこでコーチをしたのがきっかけです。バレーの技術力が日々成長し、人間的に精神力が強くなっていく姿を一番近くで見られてコーチの素晴らしさを知ることができました。自分と向き合い努力をし、仲間と向き合い日々成長していく末広中の生徒を一番近くで見守ることができ本当に幸せだと感じます。社会に出ても誰かを幸せにできる、輝く人間になってほしいと思い指導をしています。

～生徒より～ 萩原 多聞

コーチは、僕達チームの課題をはっきりと指摘して、厳しい練習で鍛えてくれます。そんなコーチの熱い指導に僕たちは、感謝しています。

女子バレーボール部

鈴木 孝直さん 服部 健さん 青木 元さん

鈴木さん▶中高の部活でバレーボールにハマリ、今回で縁がありまたやれることを嬉しく思っています。女子バレーボール部に入ったみんなもバレーボールのおもしろさにハマってくれたらいいなと思っています。

服部さん▶2人の子供も女子バレーボール部でお世話になり、何か恩返しができないかと思いコーチをやらせてもらいました。子供達の笑顔を見るために日々一緒に頑張っています。よろしくお願いします。

青木さん▶“地域で見守る部活動”の実践研究として声をかけて頂きました。わからない事が多い中、生徒と顧問、他校の先生にもご協力頂き皆さんで取り組んでいます。教師や保護者でもない立場ですので生徒が話しやすい環境を作る事を心がけています。部活を通して仲間と共に勝利する喜びや、負ける悔しさ、目標をもって取り組む姿勢などを育んでいきたいです。

～生徒より～ 岸本 桃香

コーチたちは、一人一人にアドバイスを具体的にしてくれて分かりやすいです。忙しい中、指導に来てくださるのでありがたいです。



これからもよろしくお願いします!! 静岡市の公立中学校では、随時外部指導員を募集しています。学校と地域で連携して(一丸となって)子どもたちの活動を支えていけるといいですね!

詳しくは、
こちら▶

